

みずほマーケット・トピック (2017年1月20日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向 2. 来週の注目材料
 筆者出張のため、3. 本日のトピックはお休みとさせていただきます。

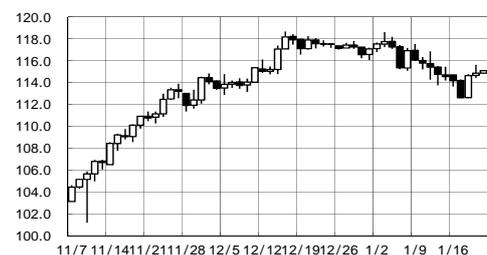
1. 為替相場の動向 (関連レポート: 「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- ・今週のドル/円相場は週後半に強含む展開。週初 16 日、114 円台前半でオープンしたドル/円相場は、日経平均株価の下落を受け 114 円台前半で上値重く推移。英国の強硬な EU 離脱 (ハードブレグジット) 懸念から、ドル/円は 113 円台後半まで下落する場面が見られるも、その後はポジション調整の円売りが優勢になると 114 円台前半を回復した。17 日にかけて、メイ英首相の演説を控えたりリスク回避の動きが強まりドル/円は 112 円台後半まで下落したが、演説では EU 単一市場からの撤退を表明するも、最終案は上下両院の採決にかけるとの発言にハードブレグジット懸念が和らぐと 113 円台半ばまで上昇。しかし 18 日にかけては、米金利の低下や米株の下落を背景に、ドル/円は一時週安値となる 112.57 円をつけた。その後は良好な米経済指標やイエレン FRB 議長の講演を受けて米金利が上昇すると、ドル/円は 114 円台後半まで買い戻された。翌 19 日には、ECB 理事会後のドラギ ECB 総裁の記者会見でのハト派な発言を受けてユーロ売りが強まると、ドル/円は 115 円台半ばまで上昇。その後、ムニューチン氏の指名承認公聴会での質疑応答において強いドルは長期的に重要との発言に、ドル/円は一時週高値となる 115.62 円まで上昇した。本日は今晩にトランプ次期大統領の就任式を控え、ドル/円は 114 円台後半で底堅い推移となっている。
- ・今週のユーロ相場は揉み合う展開。週初 16 日、1.06 台前半でオープンしたユーロ/ドルは、欧州の金利低下を受けたユーロ売りに、一時週安値となる 1.0580 をつける。その後はハードブレグジットへの懸念からリスク回避姿勢が強まり、ドル売り優勢地合いになると 1.06 台前半まで上昇。17 日は米金利の低下を受けたドル売りに、ユーロ/ドルは一時週高値となる 1.0719 まで上昇した。その後はメイ首相の講演において EU 単一市場からの撤退が表明されるも、最終案は上下両院の採決にかけるとの発表にハードブレグジット懸念が和らぐと 1.07 を挟んで底堅く推移。18 日、ユーロ/ドルは 1.06 台後半で方向感に欠ける値動きが継続したが、イエレン FRB 議長の講演を受けてドル買いが強まると 1.06 台前半まで下落した。19 日、開催された ECB 理事会では現状の金融政策は維持されるも、ドラギ ECB 総裁のハト派な発言を受けてユーロ売りが強まるとユーロ/ドルは 1.05 台後半まで下落したが、ユーロ買い意欲も散見される中 1.06 台後半まで反発した。本日にかけてもユーロ/ドルは 1.06 台後半で堅調に推移している。

今週のおもな金融市場動向 (出所: ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週			
		1/13(Fri)	1/16(Mon)	1/17(Tue)	1/18(Wed)	1/19(Thu)
ドル/円	東京9:00	114.68	114.23	114.16	112.90	114.72
	High	115.45	114.80	114.28	113.36	115.62
	Low	114.18	113.61	112.60	112.64	114.40
	NY 17:00	114.55	114.17	112.62	0.00	114.85
ユーロ/ドル	東京9:00	1.0616	1.0627	1.0605	1.0696	1.0628
	High	1.0675	1.0636	1.0719	1.0712	1.0677
	Low	1.0596	1.0580	1.0598	1.0681	1.0589
	NY 17:00	1.0644	1.0606	1.0715	0.0000	1.0662
ユーロ/円	東京9:00	121.76	121.42	121.02	120.79	121.94
	High	122.41	121.65	121.38	121.11	122.73
	Low	121.66	120.77	120.55	120.67	121.80
	NY 17:00	121.87	121.06	120.69	0.00	122.46
日経平均株価		19,287.28	19,095.24	18,813.53	18,894.37	19,072.25
TOPIX		1,544.89	1,530.64	1,509.10	1,513.86	1,528.15
NYダウ工業株30種平均		19,885.73	-	19,826.77	19,804.72	19,732.40
NASDAQ		5,574.12	-	5,538.73	5,555.65	5,540.08
日本10年債		0.05%	0.05%	0.05%	0.06%	0.08%
米国10年債		2.40%	-	2.33%	2.43%	2.47%
原油価格(WTI)		52.37	52.64	52.48	51.08	51.37
金(NY)		1,196.20	1,202.60	1,212.90	1,212.10	1,201.50

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- ・ 米国では、本日の現地時間午前 11 時 30 分(日本時間 21 日午前 1 時 30 分)よりトランプ次期大統領の就任式典が行われる。同式典に関しては、公民権運動の功労者として民主・共和両党からの支持が厚いジョン・レイス議員(民主党下院)を始め民主党議員が 50 名程度欠席する見込みのほか、大規模なデモが計画されるなど混乱が予想される。なお、就任初日に行うとしていた 環太平洋経済連携協定(TPP)の離脱や 北米自由貿易協定(NAFTA)の再交渉、 中国の為替操作国認定、 その他の不法移民対策や規制緩和の実施などのうち、 についてトランプ次期大統領は既に先送りする意向を示している。但し、スパイサー次期大統領報道官は、上述の項目のうちトランプ次期大統領は「高い優先事項とする課題」について 4~5 の大統領令を発する方針であることを明らかにした。トランプ次期大統領がどの項目に関する大統領令を発するかが注目される。
- ・ 米経済指標では 27 日(金)に 10~12 月期 GDP(1 次速報)が発表される。7~9 月期 GDP(3 次速報)は 2 次速報(同+3.2%)から上方修正された。個人消費が減速した一方で輸出と在庫投資が拡大し、4~6 月期から大幅に加速した姿は変わっていないが、3 次速報では個人消費やインフラ投資が上方修正されている。7~9 月期の大幅成長は在庫投資による一時的な押し上げによるものと見る向きも多く、市場では 10~12 月期は同+2.3%と成長ペースが減速すると予想されている。このほか、24 日(火)に 12 月中古住宅販売件数、26 日(木)に 12 月新築住宅販売件数、27 日(金)に 12 月耐久財受注(速報)が発表される。
- ・ 本邦では、25 日(水)に 12 月貿易収支、27 日(金)に 12 月全国消費者物価指数(CPI)が発表される。このうち、12 月貿易収支は+3580 億円の黒字になると市場で予想されている。既に発表された 12 月 20 日までのデータによると、12 月の輸出は前年比+0.2%、輸入は同 0.7%となり、貿易収支は 4 か月ぶりに 2186 億円の赤字となっている。円安の進行によって輸入額のマイナス幅が縮小したことが、貿易赤字に繋がっている。こうした傾向は月次統計でも表れると考えられるが、市場では月末にかけて輸出が拡大したと見る向きが多く、市場予想の中心は+3580 億円の黒字となっている。また、12 月全国 CPI は同+0.2%と市場で予想されている。先行指標となる 12 月東京都区部 CPI は飲料などの伸び鈍化を理由に同+0.0%と 11 月(同+0.5%)から減速した。12 月全国 CPI も同様に物価上昇率の減速が予想される。
- ・ 欧州では、23 日(月)にユーロ圏 1 月消費者信頼感(速報)、25 日(水)に独 1 月 IFO 景況感指数、26 日(木)に英 10~12 月期 GDP(速報)、27 日(金)にユーロ圏 12 月マネーサプライが発表される。このほか、政治日程では 26 日(木)にユーロ圏財務相会合、27 日(金)に EU 財務相理事会(ECOFIN)がブリュッセルにて開催される。

	本 邦	海 外
1 月 20 日(金)		・米新大統領就任式
23 日(月)	・11 月景気動向指数(確報)	
24 日(火)		・米 12 月中古住宅販売 ・ユーロ圏 1 月製造業 PMI・サービス業 PMI(速報)
25 日(水)	・12 月貿易収支	・独 1 月 IFO 企業景況感指数
26 日(木)	・12 月企業向けサービス価格	・米 12 月新築住宅販売 ・米 12 月卸売在庫(速報) ・米 12 月景気先行指数 ・ユーロ圏財務相会合(ブリュッセル)
27 日(金)	・1 月東京都区部・12 月全国消費者物価	・米 10~12 月期 GDP(1 次速報) ・米 12 月耐久財受注(速報) ・米 1 月ミシガン大学消費者マインド(確報) ・ユーロ圏 EU 経済・財務相理事会(ブリュッセル)

【当面の主要行事日程(2017 年 1 月~)】

日銀金融政策決定会合(1 月 30~31 日、3 月 15~16 日、4 月 26~27 日)

米 FOMC(1 月 31~2 月 1 日、3 月 14~15 日、5 月 2~3 日)

ユーロ圏財務相会合・EU 経済財務相理事会(2 月 20~21 日、3 月 20~21 日)

ECB 理事会(3 月 9 日、4 月 27 日、6 月 8 日)

国際為替部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌 大輔 (TEL:03-3242-7065)

daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、确实性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

経済指標カレンダー(2017年1月)

2	3	4	5	6	週末
<p>日本 振替休日</p>	<p>米国 建設支出(11月) 米国 ISM製造業景気指数(12月)</p>	<p>米国 FOMC議事要旨(12月13-14日開催分) ユーロ圏 消費者物価(速報、12月)</p>	<p>日本 マネタリーベース(12月) 日本 自動車販売台数(12月) 米国 ADP雇用統計(12月) 米国 ISM非製造業景気指数(12月)</p>	<p>日本 毎月勤労統計(11月) 米国 雇用統計(12月) 米国 製造業新規受注(11月) 米国 耐久財受注(速報、11月) 米国 貿易収支(11月) ドイツ 製造業受注(11月)</p>	
<p>9 日本 成人の日 米国 消費者信用残高(11月) ユーロ圏 失業率(11月) ドイツ 鉱工業生産(11月) ドイツ 貿易収支(11月)</p>	<p>10 米国 卸売在庫(速報、11月) 米国 卸売売上高(11月)</p>	<p>11 日本 景気動向指数(速報、11月)</p>	<p>12 日本 貸出・預金動向(12月) 日本 景気ウォッチャー調査(12月) 日本 国際収支(11月) ユーロ圏 鉱工業生産(11月)</p>	<p>13 日本 マネーストック(12月) 日本 企業倒産件数(12月) 米国 生産者物価(12月) 米国 小売売上高(12月) 米国 企業在庫(11月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、1月) 米国 財政収支(12月)</p>	
<p>16 日本 機械受注(11月) 日本 国内企業物価(12月) 日本 第三次産業活動指数(11月) ユーロ圏 貿易収支(11月)</p>	<p>17 日本 鉱工業生産(速報、11月) 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(1月) ドイツ ZEW景況指数(1月) 世界経済フォーラム(～20日、ダボス)</p>	<p>18 米国 消費者物価(12月) 米国 鉱工業生産(12月) 米国 米TICレポート(対内外証券投資、11月) ユーロ圏 消費者物価(速報、12月)</p>	<p>19 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(1月) 米国 住宅着工(12月) ユーロ圏 ECB理事会(フランクフルト) ユーロ圏 経常収支(11月)</p>	<p>20 米国 新大統領就任式</p>	
<p>23 日本 景気動向指数(速報、11月)</p>	<p>24 米国 中古住宅販売(12月) ユーロ圏 製造業PMI、サービス業PMI(速報、1月)</p>	<p>25 日本 貿易収支(12月) ドイツ IFO企業景況指数(1月)</p>	<p>26 日本 企業向けサービス価格(12月) 米国 新築住宅販売(12月) 米国 卸売在庫(速報、12月) 米国 景気先行指数(12月) ユーロ圏 財務相会合(ブリュッセル)</p>	<p>27 日本 全国消費者物価(12月) 日本 東京都都区消費者物価(1月) 米国 GDP(1次速報、10-12月期) 米国 耐久財受注(速報、12月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、1月) ユーロ圏 EU経済・財務相理事会(ブリュッセル)</p>	
<p>30 日本 日銀金融政策決定会合(～31日) 日本 商業販売統計(12月) 米国 個人所得・消費(12月) 米国 PCEコアデフレーター(12月)</p>	<p>31 日本 金融政策決定会合・展望(基本的見解) 日本 労働力調査(12月) 日本 家計調査(12月) 日本 鉱工業生産(速報、12月) 日本 新設住宅着工(12月) 米国 FOMC(～2月1日) 米国 S&Pコアロジックケース・シラー住宅価格(11月) 米国 シカゴ購買部協会景気指数(1月) 米国 雇用コスト(10-12月期) 米国 消費者信頼感指数(1月) ユーロ圏 GDP(速報、10-12月期) ユーロ圏 消費者物価(速報、1月)</p>				

(注)*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
(資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

経済指標カレンダー(2017年2月)

月	火	水	木	金	週末
		1 米国 FOMC(31~2月1日) 米国 ADP雇用統計(1月) 米国 ISM製造業景気指数(1月) 米国 建設支出(12月)	2 日本 マネタリーベース(1月) 米国 労働生産性(速報、10~12月期)	3 日本 日銀金融政策決定会合議事要旨(12月19~20日開催分) 米国 雇用統計(1月) 米国 ISM非製造業景気指数(1月) 米国 製造業新規受注(12月) 米国 耐久財受注(確報、12月)	
6 日本 毎月勤労統計(12月) ドイツ 製造業受注(12月)	7 日本 景気動向指数(速報、12月) 米国 貿易収支(12月) 米国 消費者信用残高(12月) ドイツ 鉱工業生産(12月)	8 金融政策決定会合による主な意見(12月19~20日開催分) 日本 国際収支(12月) 日本 貸出・預金動向(1月) 日本 景気ウォッチャー調査(1月)	9 日本 マネーストック(1月) 日本 機械受注(12月) 日本 卸売在庫(確報、12月) 米国 卸売売上高(12月) ドイツ 貿易収支(12月)	10 日本 *企業倒産件数(1月) 日本 国内企業物価(1月) 日本 第三次産業活動指数(12月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、2月) 米国 財政収支(1月)	
13 日本 GDP(速報値、10~12月期)	14 日本 鉱工業生産(確報、12月) 米国 生産者物価(1月) ユーロ圏 鉱工業生産(12月) ユーロ圏 GDP(速報、10~12月期) ドイツ ZEW景況指数(12月) ドイツ GDP(速報、10~12月期)	15 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(2月) 米国 消費者物価(1月) 米国 小売売上高(1月) 米国 鉱工業生産(1月) 米国 企業在庫(12月) 米国 TICレポート(対内対外証券投資、12月) ユーロ圏 貿易収支(12月)	16 米国 住宅着工(1月) 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(2月)	17 米国 景気先行指数(1月) ユーロ圏 経常収支(12月)	
20 日本 貿易収支(1月) ユーロ圏 財務相会合(ブリュッセル)	21 ユーロ圏 製造業PMI、サービス業PMI(速報、2月) ユーロ圏 EU経済・財務相理事会(ブリュッセル)	22 米国 中古住宅販売(1月) 米国 FOMC議事要旨(1月31日~2月1日開催分) ユーロ圏 消費者物価(確報、1月) ドイツ IFO企業景況指数(2月)	23 日本 企業向けサービス価格(1月) 日本 景気動向指数(確報、12月)	24 米国 新築住宅販売(1月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、2月)	
27 米国 耐久財受注(1月、速報)	28 日本 鉱工業生産(速報、1月) 日本 商業販売統計(1月) 日本 新設住宅着工(1月) 米国 卸売在庫(速報、1月) 米国 GDP(2次速報、10~12月期) S&Pコアロジックケース・シラー住宅価格(12月) 米国 シカゴ購買部協会景気指数(2月) ユーロ圏 消費者物価(速報、2月)				

[注]*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
(資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です

<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2017年1月19日	改善が顕著なユーロ圏の与信・物価状況～ECBは慢心せず～
2017年1月18日	メイ英首相演説を受けて～反EUの「悪い見本」になるのか？～
2017年1月17日	目の敵にされる4つの通貨～対米黒字を稼ぐ「悪」の枢軸？～
2017年1月16日	ECB理事会プレビュー～「可能な限り、現状維持」が本音～
2017年1月13日	週末版(円相場における実需と投機の現状について～対外証券投資にまつわる懸念事項も～)
2017年1月12日	トランプ次期大統領会見について～トランプはトランプのまま～
2017年1月11日	「国際金融のトリレンマ」を通じた日中比較
2017年1月6日	週末版(外貨準備構成通貨の現状(2016年9月末時点)～ユーロの独り負けだった過去3年～)
2017年1月5日	FOMC議事要旨(12月13～14日開催分)を受けて
2017年1月4日	2017年のドル相場について～空中戦はどこまで続くか～
2016年12月27日	2017年、為替相場の勘所～実効ベースで複眼的に～
2016年12月26日	2017年のブラックスワンはどこに現れるのか？
2016年12月22日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年11月分)
	週末版
2016年12月19日	メインシナリオのリスク点検～「守りの姿勢」継続を～
2016年12月16日	週末版(メキシコペソはドル高相場を阻むか～避けて通れない政治的通貨～)
2016年12月15日	FOMC(12月13～14日開催分)を終えて
2016年12月13日	米金利高・ドル高の影響～「熱する前に冷やす」怖さ～
2016年12月12日	円相場における実需と投機の現状について
2016年12月9日	週末版(ECB理事会を終えて～2016年は「QEの終わり」を告げる年に～)
2016年12月7日	日米金利差から見たドル/円相場の水準感などについて
2016年12月6日	イタリア国民投票レビューとECB理事会プレビュー
2016年12月5日	トランプ/ミクスのリスクとなる米国の完全雇用状態
2016年12月2日	週末版(トランプ/ミクスを左右する米製造業マインド～通貨政策のパロメーターに～)
2016年12月1日	イタリア国民投票レビュー
2016年11月28日	ユーロ相場の展望～来年底打ちも政治リスクは重荷～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年10月分)
2016年11月25日	週末版(メインシナリオに対するリスクの整理～円安リスク。「現実味」は帯びたが「現実化」はまだ先～)
2016年11月24日	日米金融政策比較と為替への含意～格差は拡大の一途だが～
2016年11月22日	真空地帯に入るドル/円相場～暫定見直し～
2016年11月21日	チキンレースと化するドル高相場～レーガ/ミクスとの比較～
2016年11月18日	週末版
2016年11月17日	イタリア国民投票に関するQ&A
2016年11月16日	円の基礎的需給環境の現状と展望
2016年11月15日	トランプ/ミクスを巡る2つのシナリオ
2016年11月14日	トランプ/ミクス相場に関するQ&A
2016年11月11日	週末版(トランプ次期大統領のポリシーミクス～随所に見られる矛盾をどう捉えるか～)
2016年11月10日	トランプ大統領誕生と為替相場見直しへの影響
2016年11月8日	実質ドル/円相場の現状～「超異常」から「異常」そして「正常」へ～
2016年11月7日	米10月雇用統計を受けて～「最後の灯火」の可能性も念頭に～
2016年11月4日	週末版(FOMCを終えて～焦点は3回目、4回目の利上げに～)
2016年11月2日	日銀金融政策決定会合を終えて～無味無臭の政策運営へ～
2016年10月28日	週末版
2016年10月27日	ドル高相場の調整が進まない背景～実効相場の観点から～
2016年10月26日	円高シナリオにまつわるリスクの整理
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年9月分)
2016年10月25日	日銀金融政策決定会合プレビュー～もう表舞台に立ちたくない～
2016年10月24日	ECB理事会を終えて～ECB版総括的検証の行方～
2016年10月21日	週末版
2016年10月20日	最近の対内・対外証券投資動向と為替について
2016年10月19日	英ポンド急落の読み方～通貨安戦争の勝ち組～
2016年10月18日	英ポンド急落の読み方～通貨安戦争の勝ち組～
2016年10月17日	米為替政策報告書を受けて～ドル高忌避変わらず～
2016年10月14日	週末版
2016年10月7日	週末版
2016年10月5日	ECBのテーバリング観測～予想すべきは真逆の方向～
2016年10月4日	世界にとってのテールリスクとなる「欧州の潔癖主義」
2016年10月3日	外貨準備構成通貨の現状(2016年6月末時点)
2016年9月30日	週末版
2016年9月27日	ユーロ圏の与信、物価、為替に関する状況整理
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年8月分)
2016年9月26日	ハードルが上がった日銀の追加緩和
2016年9月23日	週末版(日米金融政策決定会合を終えて～確度が強まる円高見直し～)
2016年9月20日	米大統領選挙と為替相場に対する考え方について
2016年9月16日	週末版(「日銀相場」の活かし方～断ち切られた株と為替のリンク～)
2016年9月15日	G4通貨の調整状況～懸念されるドル安不足～
2016年9月14日	日銀会合プレビュー～「量」の決別、金利への転進～
2016年9月13日	ブレイナード講演を終えて～ハト派の矜持～
2016年9月12日	米利上げに怯える株式市場～「ドル高の罠」再び～
2016年9月9日	週末版(ECB理事会を終えて～注目はパラメーター修正の「次の論点」へ～)
2016年9月8日	円相場の基礎的需給環境～2016年7月～
2016年9月6日	ECB理事会プレビュー～「お茶を濁す」方法～
2016年9月5日	足許の円安の本質～「4か月前の円安」と同質～
2016年9月2日	週末版
2016年8月30日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年7月分)
2016年8月29日	イエレン議長講演を受けて～「短期は強気、長期は弱気」～
2016年8月26日	週末版(ドル高相場の読み方、考え方～何を、どう見ておくべきか～)
2016年8月24日	最近のユーロ相場の状況について
2016年8月23日	黒田日銀総裁インタビューを受けて
2016年8月22日	ECB理事会議事要旨(7月20～21日開催分)
2016年8月19日	週末版(円安・円高の正しい評価とは～交易条件、実質所得、ISバランスなどの観点から～)
2016年8月18日	FOMC議事要旨(7月26～27日開催分)～自信喪失？～
2016年8月17日	「円買い」ではなく「ドル売り」に主導された円高
2016年8月16日	リスクシナリオとしての世界経済の底打ち機運
2016年8月15日	本邦4～6月期GDP～実質所得環境は改善中～
2016年8月12日	週末版(人民元ショックから1年～「国際金融のトリレンマ」に照らしたおさらい)
2016年8月10日	円相場の基礎的需給環境～2016年上半年～
2016年8月5日	週末版(総括的検証で問われるべきは「戦術」ではなく「戦略」の妥当性～「失敗の本質」は何か～)
2016年8月4日	イタリア問題Q&A～Italeaveまで至るか否か～
2016年8月3日	今一度確認しておきたい米利上げとドル高の意味
2016年8月2日	欧州銀行に対するストレステスト～残るイタリアへの不安～